

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「あなたらしさ いつまでも」の理念のもと、勉強会やBLG関連の研修を通して学習し取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	神社の清掃に行ったり、認知症カフェや結の保健室に参加したりしているが、日常的に交流する場については持っていない。	畑作業に出ることで畑の持ち主と交流したりお出掛けや買い物に出ることによって地域の方との交流があったりすると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動の報告や介護事故、メンバーさんやご家族からのお声を報告した上で、出されたご意見をサービス向上に繋げている。	運営推進会議の参加者からの意見を取り入れて、サービスに生かす試みを行っている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で担当者の方へば報告は行っているが、細かな話し合いには至っていない。市役所の色々な部署とのやり取りは行っている。	地域包括支援センターや長寿福祉課のカウンターにはメンバーさんとよく行く。認知症カフェの報告も毎月行っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の研修を年に1回行っている。玄関の施錠は行っていない。また身体拘束についても全くしていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の中で身体拘束をしない関わりを徹底している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1度虐待防止の研修を行っている。事業所内においても意識的に虐待の防止につとめている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設全体で虐待の予防について取り組んでいる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度について学ぶ機会が少ないため、全ての職員が理解出来ているは不明である。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に1つ1つの項目について説明を行い、メンバーさんやご家族が不明な事について聞き取り、丁寧に説明してご理解して頂くよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	「利用者の声」として感謝やご要望を集める仕組みはあるがあまり生かされていない。また外部へ表せる機会は持っていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生協内のアイデア提案制度で意見や提案を集める機会がある。部門内での会議では積極的な意見交換がされている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	労働条件説明会が開かれたり、グローアップシートを用いた面談を行ったりして職員の意見を聞いている。モチベーションを維持するような取り組みが必要である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内外の研修が受けやすいように費用の補助や業務の調整を行っている。新採用職員はOJTトレーナーが付き面接をしながら教育を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きらめき内の部門会議を月に1回行い、勉強会や情報の共有を行っている。他法人との交流については今後行う予定をしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護する側、される側としてではなく、同じメンバーとして関わり「～したい」の声を引き出して一緒に行なっている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や友人との外出や面会を積極的に進めている。以前からやっていた畑仕事や図書館そして水墨画教室などなじみの場所への外出も行っている。	Q.十分にできているとの結果でないのはなぜか？ A.まだ全てのメンバーさんの行きたい場所に行く事が出来ていないと感じている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の会や日常の会話の中からやりたいこと、居心地の良い環境を提案するよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランに基づいてモニタリングを行っている。チーム全体で話し合う機会は少ないため今後の課題である。	職員は各担当のメンバーさんについて、タブレット端末にて毎月のケアプランについてのモニタリングを行っている。今後はよりニーズに答えるためのケア会議を行って行く。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連絡ノートやケース記録で情報共有している。ケース記録の内容を見直す必要がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさんの意向やご家族の思いを聴き、柔軟な対応を心掛けている。	毎日の朝のお茶の時間にメンバーさんのやりたい事をお聞きして、畑仕事やお出掛けなどを決めて行っている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症カフェの準備に参加したり施設の周りの資源を活用したりしての支援を提案している。	きらめきの付近の地図を作成して地域資源について再確認を行い、買い物や図書を借りに行ったり催し物に出掛けたりしている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医の受診はご家族が行っている。また協力医との連携、情報共有を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの情報提供があり、主治医との連携を取っている。協力医には週に1回の健康チェックをして頂く他に電話で体調の連絡を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医との情報交換について適切に実施されている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の際に終末期についての説明を行っている。看取りの研修にメンバーさんと一緒に参加して意見交換をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応についてマニュアルを設置している。定期的にAED講習会を開き職員は実践力を身に付けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練を年2回実施している。夜間時の職員1人体制の時間についても備えていく。	防災訓練の避難について、メンバーさんそれぞれの状態に合わせた避難方法を決めて行く。避難経路や車椅子での避難の必要性も考えている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の体調に合わせた避難方法を考えている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄、入浴介助時はほぼ同性での援助を行っている。個室に無断で入ることなく、プライバシーに配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の尊厳を大切にした対応を心掛けている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさんの意向を毎日聞き取り、個々に合わせた活動を心掛けている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べたい物、作りたい物を聞き、メニューに取り入れている。準備や片づけをメンバーさんと一緒に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士が協力している事が見て取れ、本人としても食事を楽しまれている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせて食べ物の大きさや硬さなどに気を付けて提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアや義歯の洗浄について声掛けをしている。毎食後の義歯洗浄は実施出来ない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアは本人にも職員にも難しい介助になることもあるが、実施できると喜ばれると思う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄を基本とし個々のタイミングに任せている。支援の必要な方には職員が関わるようにしているが、毎回の確認は出来ていないことがある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各自の排泄パターンも分かると介助しやすいと思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本は週2回の午後に入浴している。毎日希望をお聞きして、夏場は毎日シャワー出来るように臨機応変に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の好みに合わせて部屋の明るさ、温度を調整している。就寝や起床時間を決めずにゆっくり過ごせる環境作りをしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	飲み忘れることがないように配薬、服薬のチェックを行い、変更時はご家族や主治医から情報を確認し共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	確実な服薬を行っている。また、薬の副作用、副作用についても主治医と連絡を取り合っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさんのこれまでの生活歴を活かした役割や活動を提案し、主体的に動けるように支援している。	生活の場として毎日の食事の準備や掃除、洗濯など役割をメンバーさんに選んでいただいている。やりがいが出ている方もいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	畑仕事、散歩、ドライブ、買い物そして図書館へ行く事など希望に応じて行っている。地域の行事にも積極的に参加している。	畑仕事、散歩、ドライブ、図書館などメンバーさんのご希望に合わせて行っている。ご家族と文化会館へコンサートを聞きに行かれた方がおられた。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理している方はお一人である。他のメンバーさんはご家族より預り金を金庫で管理して、必要時に職員がお支払いしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持されている方が2名おられる。他のメンバーさんは施設の電話でご希望時に家族等にお繋ぎしている。今のところ手紙のやり取りは無い。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有の空間は十分な広さがあり安全に移動が出来る。照明を変えたり空調を整えたりして快適に過ごすことが出来る。ソファやコタツでくつろいだりテレビを見たり、落ち着いて過ごすことが出来る。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全ての願いが整っている環境ではないが、それぞれのペースで過ごせるように支援している。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会だけでなく友人と喫茶店や習い事に行ったり、家族と山や食事に行ったりする関係が継続出来ている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタルを測定し、体調面に変化があれば家族に報告し受診が出来ている。週1回オレンジクリニックによる健康チェックを実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調面について、入居者が不安なく暮らせていることに満足されていると感じる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	室内では絵を描いたり読書をしたり個々に自由に過ごしている。共有スペースでは会話やテレビを見たりして過ごしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室には馴染みの道具や家族の写真など、それぞれが何かしら馴染みの物を持ち込まれて自分の空間にされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの物がまわりにある事で、入居者は安心して感じている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出の制限は全くしておらず、希望に答えるようにしている。イベントや機会があれば情報を提供している。	外出の制限は一切していない。お祭りに出掛けたり催しのある場所にみんなで行ったりしている。今後も続けて行く。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	やりたい事を中心に行って頂き、不安になったり落ち込まれたりする方には自尊心を傷つけない支援を行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	趣味や仕事をしていた頃の話や生活の事などを聞くことが多い。メンバーさん同士の会話が多くなってきた。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバー様が職員からの優しい声掛けやメンバー同士の会話の中で毎日を楽しく過ごしてもらいたい。。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	一部のメンバーさんは挨拶や世間話が出来ている。地域や近隣の方との交流をもっと増やしていきたい。	提案として、GHに月1回催し物があるって、地域の人を招待するような物は出来ないか。そこでメンバーさんや職員と知り合いになることで、その後にお家へ遊びに行くきっかけになるのではと思う。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不安や寂しさが減り、メンバーさん同士の交流や職員に頼ってくださる事が増えてきた。	自宅から離れて暮らすことに不安をや寂しさを感じているメンバーさんがいるが、仲間同士の関わりの中で徐々に安心されて暮らしている方が増えてきている。	A. ③十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	